

2014年11月15日発行 No.108 会員世帯数 772(2014年9月30日現在)

印刷：大久保印刷

かめがおか



亀が岡自治会 創立50周年

亀が岡団地の合言葉：Spirit of helping one another(お互い助け合う気持ち)

ホームページ <http://kamegaoka.client.jp/>
e-mail : kamegaoka@theia.ocn.jp

This is Kamegaoka 

むかし、いま



25周年記念誌より転載

↑昭和40年（1965年）

昭和43年（1968年）→



25周年記念誌より転載

↓平成26年10月（2014年）



亀団創立と同じ満50歳の
鎌柄尚治さんは5歳から
ずーっとこの地に住む生粋の
亀団っ子です。現在はお休みの
日に小坪少年サッカークラブ・
ガロートでコーチをされて
います。

亀団創立50周年の今年、
平成26年9月22日に2,876²で
誕生したばかりの中川翔愛(とあ)
くん。ちゃんとカメラ目線を
頂けました。将来大物になり
そうな予感がします。
健やかに育ちますように。



1995年
平成7年
阪神淡路大震災

2001年
平成13年
三バスの倒産
ファミリーマート開店

2011年
平成23年
東日本大震災

2014年
平成26年
亀が岡自治会50周年

2020年
平成32年
東京オリンピック

亀知識

『亀が岡』名称の由来 →

私たちの住宅地が『亀が岡』と名付けられたのは造成工事が完了する昭和40年ごろでした。土地購入者に次の4つの候補のアンケートがされました。

①望海苑 ②理想郷 ③鷺浦台 ④亀が岡

①と②は文字通りですが、③は昔、小坪の浜にサギが群棲し「鷺が浦」といわれた。④は鎌倉時代、源頼朝の愛妻が小坪に住んでおり「亀の前」と呼ばれた。その小坪の丘陵にできた住宅地であることから「台」や「岡」をつけたと説明にあった。結局希望の多い『亀が岡』が選ばれた訳だが、空から見る『亀が岡』は亀の甲の形に見えるが候補に挙げた時は全く意識にはなく、偶然の一致であったといえます。

景色のうつり変わり



現在の亀が岡入り口付近。
だんぼがあって、昔「一ノ沢」といわれた＝昭和31年



現在のファミリーマートはガソリンスタンドだった。
昭和54年頃（1979年）



平成13年3月にオープン。すっかりなじみの場となった。



若林福治さんは大正2年生まれ。今年で満101歳のおばあちゃん。亀が岡団地の最長寿です。

周りの皆さんのおかげで元気に過ごしています。



みんなはいつ生まれたのかな？



自治会長より

今年は、亀が岡自治会発足50周年になります。その節目にあたる年に、このように装いも新たに「かめがおか」会報が発行されることをうれしく思います。

さて、皆様すでにご存知のように、今年度の自治会は、いつおきてもおかしくない大地震に備えて、防災対策を重要課題としています。

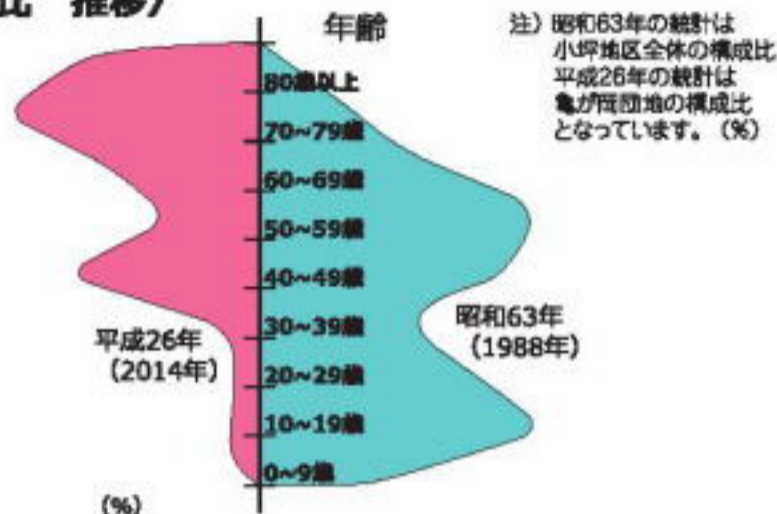
いざ実際に取り組み始めてみると、様々な課題に直面しますが、一步一步慎重により安全安心な団地づくりに向けて準備していきたいと思えます。

そのためにも、皆様の一層のご理解、ご協力が不可欠です。「起きてからの絆ではなく、起きる前の絆」を合い言葉に、防災対策を通して、亀が岡団地の皆様相互の絆を深められることを願っています。

平成26年11月

自治会長 別所 正

〈人口構成比 推移〉



日本の現状がこの亀が岡団地にも顕著に表れているのがわかります。

夏を迎えると白い高砂ゆりの花が庭から見られるが、その昔亀が岡周辺は種の飛来によってユリの群落に囲まれた丘であったと云う。また蓮子に古くから住む方々からは南面に広がる太陽の恩恵を最も受ける丘であったと語られている。

造成50年を迎えると当初の風の強さも忘れ、大地の自然の恵みに感謝するばかりである。

また凸凹道路もなくなり、下水道も整備され、ミニバスも巡回し、かつての悪路の面影はない。このことにあたられた方に改めて御礼を申し上げたい。

また一方で一時声をひそめていた少年少女の歌声も遊園地(現亀が岡公園)から再び届けられるようになった。

これも世代交代のひとつのしるしであろう。この健康で明るい一団は若さの象徴で頼もしくもある。早朝、夕方にみられる挨拶を交わしながら散歩やジョギングをなさる中高年の方々には敬服し勇気を頂いている。更に夜、自警のボランティアの方々には「これで安心して休める」と感謝の念がわきあがる。

これからどんな町の活動が考えられるのか。来るべき大災害も乗り越えられるよう祈るばかりである。



亀が岡自治会創立25周年時、記念誌の発行に携わっていらした板津直成さん。

現在は85歳。愛犬を連れて亀が岡を歩き、その変化を50年に渡り見守って来られました。

This is Kamegaoka 🐢

イベント

平成 26 年 7 月 27 日(日)

亀が岡公園夏まつり

お天気にも恵まれ、大盛況でした。
ご協力頂きましたみなさま大変
ありがとうございました。



狙いをさだめて…



並んでならんで



交渉中!



にぎやかな公園



おそろいでパッチリ



暑さの中 大奮闘



釣れたよ!

子供パトロール



7月27日から8月30日まで昼間は暑いので夜のみ行いましたが、夏休みの子供パトロールは盛況で27名が参加しました。3回以上参加者は26名、10回以上は7名でした。学年別では中1=2人、小6=5人、小5=3人、小4=4人、小3=6人、小2=3人、5歳=2人、4歳=1人、2歳=1人でした。

3回以上参加した子供には感謝状と記念品(中学生:定期入れ、小学生:アルバム手帳、未就学児:プラモデル、2歳児:水鉄砲)に加え、お菓子を贈呈し、大変喜んで頂きました。



いつも兄弟で参加してくれた小林兄弟に感想を聞きました。
〈三男亮也くん:2歳〉楽しかった!
〈二男達也くん:小3〉友達と一緒に歩いて楽しかった。
〈長男:佑哉くん:小6〉何回もしているが、いつも歩きながら友達と話
が出来るので楽しい。
〈お母様〉亮也と一緒にパトロールしましたが、ご一緒した人達とお話しが
出来てとても良かったと思います。KBBの皆様に感謝します。

ラジオ体操

平成 26 年 7 月 28 日～8 月 3 日
平成 26 年 8 月 24 日～8 月 31 日 の計 14 日間



続々と集合



ラジオ体操第1と第2

今回父兄の方から亀が岡のホームページに提案があり、急きょ開催が決定した夏休みのラジオ体操ですが毎朝、子供も大人もそれぞれ25人から30人の計50人前後が集まりました。

後半はお天気に泣かされましたが、それでも一日のはじまりをみんなの体操で気持ち良くスタートすることができました。

ここ亀団在中の 公益財団法人逗子市体育協会会長 東 弘之さんにも、毎朝お付き合いいただきましたので感想を伺います。



東 弘之さん

今年が逗子市が市制60周年であり、またスポーツ都市宣言をして30年目の節目の年です。
その節目の年に亀が岡でラジオ体操が復活したのは健康増進に少しでも役立てばという、うれしい出来事でした。さわやかな朝の空気の中、親子連れやシニアの方々の参加も多く、和気あいの内に終了しました。自治会の皆様の熱意と指導に携わって頂いた方に感謝しています。



皆勤賞の4名には賞状も

早起きは大変じゃなかった。楽しかったし、こんなの(賞状)ももらえてうれしかったので来年もまた来ます。
(小坪小2年・小山蓮生くん・写真右から2人目)



亀知識

分譲当時はまだまだ空き地がたくさんありました。その空き地を利用して家族ぐるみでの運動会も開催されていたほどです(写真)。

現在の少年野球チーム、小坪マリナーズは当時亀が岡トータスという名称でした。その後小坪地区と合わさり、一時は120名を超えるほどの人気でした。



昭和41年(1996年頃)

ぼうさい

防災知らずの 防災対策実行委員会委員長 就任の記

防災対策実行委員会 川上秀雄



平成25年度役員任期も終わり「子育て知らずの孫育て」に専念しようかと思っていた矢先に正に晴天の霹靂の役目が廻って来ました。何せ正直なところ防災の知識はゼロでした。防災は公助(逗子市)に任せておけば安心との思いが強い私でした。

そこで就任後、ドイツの名宰相ピスマルクの言った「愚者は経験に学び賢者は歴史に学ぶ」を思い出しました。幸いなことに震災にも遭わずに71年の齢を重ねた小生であります。そこで小生が考えたのは愚者が賢者になる早道として「賢者は歴史に学ぶ」に従い、吉村昭氏の「関東大震災」「三陸海岸大津波」同氏令夫人の津村節子「三陸の海」、石井正医師の「東日本大震災 石巻災害医療の全記録」、黒田康子様「関東大震災と逗子」を購読いたしました。特に石井正医師の「東日本大震災 石巻災害医療の全記録」は宮城県知事から任命された災害医療コーディネーターとして大震災発災後の医療現場から見た震災の惨状が克明に記録されており深い悲しみを覚えました。と同時に阪神淡路大震災を契機に大震災発災時の医療システムの状況が理解でき大変参考になりました。

また、長く防災に地道に組んでいます他の市区町村の方々、特に消防署、防災課へ直接電話で照会しました。新聞記事に防災への取り組みをされている自治会の記事が掲載されますと直接手紙で資料の提供をお願いしまして情報を集めました。

これらの著書の情報や、助言を頂いた見ず知らずの方々から得たものは、生死を分ける大震災発災時から72時間においては「公助」より「近助」、「互助」の大切さでした。

また、防災への取り組みは空振り三振が続いても無駄と思わずに息の長い取り組みが必要な事です。むしろ空振り三振が長く続く事が我々にとって幸福な事です。

この度、防災対策実行委員会では皆様をお願い致しまして、青年部、婦人部、U-22、有志の会へ多くの方々からご登録を頂きました。率先してご登録頂きました皆様へはこの場をお借りいたしまして深く感謝申し上げます。自治会組織の中に上記支援組織を創設し、安心(Safe)、安全(Secure)、支え合い(Support)の亀が岡団地の3S実現へご登録いただいた方々と共に地道に取り組んで参ります。青年部、婦人部、U-22、有志の会は我が亀が岡自治会が続く限り永遠に持続させなければならない組織と思います。決して我々の世代で終わらせる事なく次の世代の方々を引き継いでいきたいという思いを強く抱いております。

なお、この取り組みにあたりましては、本年2月の荒井顧問様のご提言が基となっております。荒井顧問様には阪神淡路大震災、東日本大震災でのボランティア活動のご体験を基に貴重なご助言、取り組み推進でのご指導を頂きました。荒井顧問様はこの度防災士の資格を自ら進んで取得されました。また、木村玲子様、大川和人様には貴重なご助言、資料のご提供を頂きました。ここに協力、ご指導をいただきました3氏の方へ謹んでお礼申し上げます。

「起きてからの絆ではなく、起こる前の絆」です。



まち たんけん

ぼくたち、わたしたちの町を探検しよう！

きけん

どこが危険かな？

ふだん ある な 普段、歩き慣れているところにこんな危険が潜んでいるよ。



さいがい が 災害が起きたとき、
かぞく いっしょ 家族と一緒にいるとは限らないよ。
じぶん 自分たちだけで出来る身を守ること、
ふだん から 普段から考えておこうね。
かぞく 家族でもよく話し合っておこう。



こんな塀は 倒れてくるよ。



瓦屋根の お家は瓦が 落ちてくるよ。

大きなガラス窓の お家も危ないね



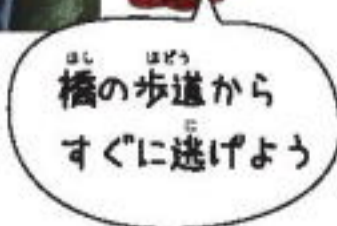
変圧器の ついた電柱は 重たいよ



足元が不安定な 自動販売機が あるよ



橋の歩道から すぐに逃げよう



崖の近くを 歩くのも 危険だね



そなえ、の心

自分の命は自分で守る

三浦半島活断層調査会 木村玲子

*阪神・淡路大震災

1995年1月17日、その日の朝、午前8時過ぎに何げなくつけたNHKテレビの大火災の映像を見て、「どこの火災だろうか？高速道路が倒れている。どうも神戸らしい。関西で地震？大きな地震のなかった関西で？」頭の中が真っ白に。実家も被災し、私の大阪通いが始まりました。



*三浦半島活断層調査会の設立

その時、横須賀市では市民が立ち上がりました。三浦半島には、以前から活断層があるといわれていて、活断層が引き起こす直下型地震の阪神・淡路大震災がおこって、市民の不安が高まりました。4月に「三浦半島の活断層」というテーマで講演会が開かれ、参加者からもっと活断層を勉強したいという要望があり、三浦半島活断層調査会が設立されました。それから、市民の精力的な活動がはじまります。「活断層とは何か？」「我が家の耐震診断」「家の中の安全対策」「液状化とは？」などの講演会開催、「市民による断層調査」「他地域の活断層見学会」「夏休みの子供防災大学の開催」など。

その活動は、逗子市にも広がります。「津波ハザードマップ作成の意見提案」「ガンマー線による断層調査」「モーターパラグライダーによる三浦半島海岸地形の調査」「逗子市防災講演会への協力」「逗子減災大学の開催」などを続けています。今年行われた、「逗子減災大学・一日体験教室（夏のピクニック勉強会）」を紹介しましょう。小坪海岸に残る関東大震災の津波の跡を見て歩き、「オリジナル新聞」を作りました。お昼ごはんは災害非常食（アルファ米）をみんなで作って食べました。参加者は、幼稚園から小学生、70歳代の大人まで様々で、「小坪にも津波が来ていて驚いた」「色々見て歩いて自分らしい新聞が書けてうれしい」「子供と参加できてとてもよかった」「小坪だけでなく逗子市民全員が体験できたらよい」などご意見をいただきました。



メンバーは、活断層、地質、地形、放射線、建築、土木、地域計画、郷土史の専門家はもちろんのこと、小・中・高の理科・地学の先生、登山の愛好者、主婦など多彩です。昔の災害の跡を見たり、地形などの自然環境を学ぶことは台風・豪雨・地震・津波から自分の命を守ることにつながります。

三浦半島活断層調査会では、自治会の皆様に、災害と減災についての様々な情報をお知らせしますので、どうぞよろしく願いいたします。

◎スタンドパイプセットの積極的な活用を

①スタンドパイプセットは、消火栓等に直接接続し、放水することができる消火資器材です。軽量で、持ち運びやすい可搬式であり、取扱いが比較的簡単です。

②スタンドパイプセットには、初期消火活動に必要な資器材が一式、台車に搭載されています。比較的軽量なため、女性やご年配の方でも、台車を押して搬送することが可能です。

また、消防車が入れない狭い道路の地域でも消火栓等に繋いで放水できます。放水は、消火栓に資器材を接続するだけで可能なため、簡単かつ迅速な消火活動が行えます。

③お住まいの地域に設置されている消火栓及び排水栓の場所を確認しましょう。

④亀団の皆さんが、災害時に迅速な消火活動を行うことができるように、今後自治会が実施する防災訓練への積極的な参加と、スタンドパイプセットによる初期消火活動の習得に努めるよう啓発を行ってまいります

⑤火災時には、以下の手順を踏むことで、放水可能です。



- (1)消火栓鍵を使って、消火栓の鉄蓋を空ける。
 - (2)消火栓にスピンドルドライバーを差し込む。
 - (3)消火栓にスタンドパイプを差し込む。
 - (4)スタンドパイプにホースを繋ぎ、スピンドルドライバーをひねる。
 - (5)放水を開始する。
- ※スタンドパイプを差し込む前にスピンドルドライバーを少しひねり、にぎり水を排水してください

亀が岡団地の3S

安心(Safe)
安全(Secure)

支え合い(Support)
プロジェクト

～私たちの亀団を守ろう～
忘れないで3.11 東日本大震災
命を救ったのは人でした。
恐ろしい災害から
命を守りたいから
まずは個人、家族、
そしてこの亀が岡から。
みんなで協力しましょう。

Spirit of helping one another
(お互い助け合う気持ち)

3Sプロジェクト実現して私たちの亀団を守りましょう

亀が岡団地住民の合言葉3S、安心(Safe)、安全(Secure)、支え合い(Support)を目指して亀が岡自治会は長い長い道のりの防災活動を始めました。自治会の中に防災対策実行委員会を立ち上げ、自治会会員の皆様のご協力を得まして次の世代へ引き継いで行ける立派な組織を作る覚悟です。

防災対策実行委員会では今年中にスタンドパイプの消火訓練、小学生の登下校時の防災訓練を実施いたすべく関係各機関と折衝を致しております。会報が届くころには実現しているものと思います。中長期の取り組みといたしましては災害時の水の確保としまして名越の配水池の非常用バルブ設置、

震災発災時の一時避難場所の確保に取り組んで参ります。

なお、先般お願いしました青年部、婦人部、U-22、有志の会への皆様の登録を改めてお願い申し上げます。私たちの力は微力ですが無力ではありません。微力でも結集すれば大きな力になります。「起きてからの絆ではなく、起きる前の絆」です。

なお、詳しくお知りになりたい方はお近くの班長、自治会役員、防災対策実行委員会 川上(TEL: 0467-23-2342)へご照会下さい。

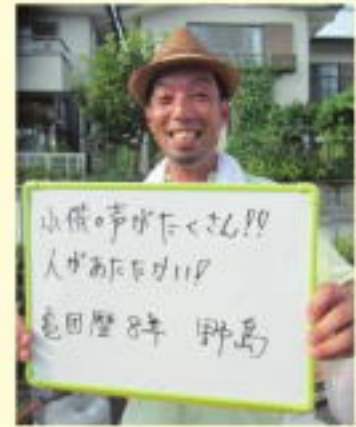
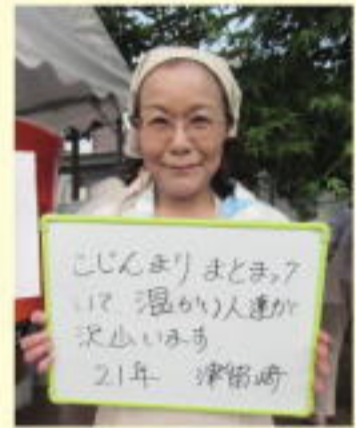
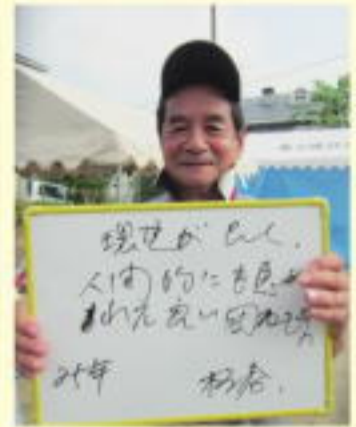
登録届			
亀が岡自治会 班長 お申し込みは亀が岡自治会防災対策実行委員会事務局へお願いいたします。 〒114-8544 東京都品川区東品川1-1-1 亀が岡自治会事務局(TEL: 0467-23-2342)			
住所	氏名	電話番号	フリガナ
〒			
氏名			
住所			
〒			
フリガナ			

※登録届は防災対策実行委員会事務局へ提出してください。提出後、事務局よりご連絡いたします。

☆登録届は亀が岡自治会ホームページからもダウンロードが出来ます。
亀が岡自治会ホームページ→防災対策実行委員会→亀が岡防災登録届

This is Kamegaoka 

インタビュー



平成26年7月27日(日)

亀が岡公園夏祭りでお伺いしました。

- ・ あなたの逗子・小坪・亀団の好きな所(ところ)
- ・ 居住年数・お名前



This is Kamegaoka 

人、ひと、ヒト

この亀が岡団地に住む方の各方面での活躍ぶりを取り上げました。

ANIELCHI アニエルチ



「ねえねえ、これなあに??」

亀ヶ岡団地のみなさんこんにちは。特定非営利活動法人ANIELCHI (アニエルチ)です。アニエルチとは、Animal (動物) Elderly (高齢者) Child (子ども) の三つの言葉を組み合わせた名前で、犬・高齢者・子どもが共に過ごす場所を作りたいという思いで開設しました。亀ヶ岡団地南のバス停近くの自宅にて、デイサービス&保育園を併設し、高齢者と保育園児が共にふれあいながら過ごしています。

◆オープンしてみたの感想

平成26年7月に開設し、3ヶ月がたちました。おかげさまで少しずつ利用者さんも増え、保育園の子ども達とにぎやかに過ごしています。デイサービスの利用者さんが到着すると玄関に迎えに行く子ども達。皆さんの笑顔が毎日見られ、「子ども達に癒されるわ」「ずっと見ているだけでも飽きないわね」「いつも〇〇くんに会えるのを楽しみにしているのよ」など、嬉しい言葉も聞かれます。また、昔ながらの童謡を一緒に歌ったり、私達スタッフも知らない歌を子ども達に教えてくださいます。アニエルチならではの光景がたくさん見られていますよ。

◆地元亀団密着の思い

アニエルチは、介護福祉士と保育士の夫婦で開設しました。私たち夫婦は共に小坪小学校を卒業した地元育ちです。妻の美菜子はここ亀ヶ岡団地で育ちました。(旧姓福留です。祖父の代から亀団でお世話になっていますので、ご存知の方もいらっしゃるかもしれません。)私達が生まれ育った地域ということもあり、地域に密着した施設でありたいと思っています。近所の小学生からお年寄りの方まで、みなさんが気軽に顔を出せるような、地域とのつながりを大切にしたい場所になれたらと思っています。これからどうぞよろしくお願いいたします。

☆ボランティアさん募集中です。

お時間のある方、ぜひお手伝いに来ていただけませんか?
犬のお散歩、子どものお世話(お散歩や室内での遊びなど)、高齢者のお話相手など。
詳しくはお気軽にお問い合わせください。

朝の会では子ども達と一緒に手遊びや歌を楽しみ、昼食やおやつでは一緒に食卓を囲みます。デイサービスの方には子どもや動物から元気と癒しをもらい、イキイキと過ごしていただけたら、また、子どもたちも高齢者や動物と共に過ごす中で優しい気持ちや思いやりの気持ちを育んでもらえたらと思っています。

ちょっぴり人見知り、優しくイケメン、代表のよしひろさん。
子供に大人気、保育園勤務時代からなじみの親子も多い、可愛いみなごせんせい。
看板犬のりりしいエムジェイ君。



「えむじゅーもやりたい?」



お問い合わせ

特定非営利活動法人 ANIELCHI

〒249-0008 神奈川県逗子市小坪1-13-8

TEL 0467-25-1505 <http://www.anielchi.org>

担当者 携帯 070-5364-2287

亀田出身

絵本作家 横田真紀さん デビュー作!



横田 真紀(よこた まき)

1976年生まれ、神奈川県逗子市で育つ。高校卒業後に渡米し、ニューヨーク州立大学で美術史を専攻する。同校卒業後は、東京の広告会社にプランナーとして十数年勤める。現在は翻訳の他、色鉛筆、フェルト、布、ビーズなどの素材を使用して絵や人形などを制作中。検索サイト→Makiyokota.com 文芸社 B5横判・28頁 定価(本1,200円+税)

でっかい景色を眺められることでしょうか。披瀝山公園のはじっこから相模湾を一望するとなんとなく誇らしい気持ちになり、何かを叫びたい気持ちにさえなります。私の住む所では高層ビルにでも登らない限りなかなか視界が開けません。小さい風景ばかり見ていると小さい人間になってしまう!と本気で感じる今日この頃です。

子ども時代は何も意識せずしている素朴な行いですが、日々変わる海や山の色を眺めたり、浜や公園で貝やどんぐりを拾い集めたり、草花を採ったり食べたりしたことで、意識せずとも様々な色や形に触れていたんだと思います。そういうことが今絵を描いたりする上で色づかいや形づくりにつながっているのかなとも感じます。

また、小坪の夜は驚くほど真っ暗なので、月もくっきり星もたくさん見えます。真っ暗すぎてちょっと怖い、何かがいそうという感覚も子供ながらにワクワクさせられ、空想妄想をかき立てられました。

今回出版した「バイバイ、おっばいさん」も妄想から生まれたおはなしです。授乳の喜怒哀楽を空想世界に置き換えることで、ちょっと不思議な絵本に仕上げることができたかなと思います。

直接的に逗子や小坪を感じられる要素はありませんが、授乳をがんばったお母さん、そんなお母さんをねぎらいたいお父さん、そんな彼らを応援したい祖父母のみなさまに手に取っていただけると嬉しいです。

バイバイ、おっばいさん

忘れてないで。

授乳期の大活躍ぶりを。

やっとねむれる。お酒が飲める。

好きなものも食べられる。

機嫌で服や下着を選ばなくてもいいし

突然びしょびしょになったりしなくていいし

服がミルクの香りに染まるのからも解放だ。

まちごがれてた授乳のおわり。なのに、なんだかさみしいー。

この8月に「バイバイ、おっばいさん」という絵本を出版しました、横田(旧姓今泉)真紀です。

現在は都内に住んでおりますが、幼少期は桜山で育ち、10歳から高校卒業までを小坪で過ごしました。山、小川、沼が主な遊び場だった桜山から、海ありおしゃれマリナーあり心霊スポットありの小坪へ移り、子ども時代を通して逗子を味わい尽くせたかと思えます。

出身地を聞かれて逗子だと答えると、うらやましいと言われることがよくあります。都会の暮らしもいいもんだと思っていた私も年齢のせいなのか、はたまた子どもを持ったからなのか、小坪暮らしのありがたみを今更ながらひしひしと感じております。その良さは何と言っても、ぶらり圏内に披瀝山公園や大崎公園の目玉スポットがあり、

着物暮らしの知恵お教えします



1985年2月28日ニューヨーク州のウェストチェスター新聞に掲載されたものです。オペラ公演(マダム・バタフライ)で着物を紹介するお手伝いをして長坂さんが着付け方法や着付け時間を細かく取材されたもの。

まもなくやってくるクリスマスシーズン、着物でこんなクリスマスカラーのコーディネートで他の人と差をつけてみませんか?

ご主人の仕事でシドニー、ニューヨーク、アムステルダムに10年以上も駐在していらした長坂さん。各地で日本の着物文化を紹介してきました。日本人はもちろん、現地の奥様の着付けを担当し、大変喜ばれていたそうです。この国には着物という素敵で自由な文化があるとおっしゃる長坂さんに気さくで楽しいお話を伺いながら、着物に親しんでみませんか。

「着物を着ることは本当はそれほど難しいものではありません。体にやさしい着方、TPOのこと、ちょっとした寸法直しやお手入れ法など、長年着物で過ごした私の知恵をみなさまにお分けしたいと思えます。どうぞご相談ください。」

連絡先→小坪2-13-5 (はげ山すぐ) 長坂順子
Tel&fax 0467-25-4607

ネイルサロン acid color 自宅サロンでゆったりネイル



ご自宅の2階へあがるとまるで異空間の素敵なサロン。ここで金子さんが施術しています。

とっても穏やかな口調で、お客様のお話をとことん聞いて希望に近いネイルに仕上げてください。

長年の固定客がいるのもうなづけます。

いつまでも女性のおしゃれ心を大切に、どんな年代の方でもお待ちしております。

ネイルとおしゃべりで時間が経つのもあっという間。まずは下記にご連絡くださいませ。



☆ジェルネイル¥3,000(手、足の爪それぞれ)

acid color 金子 晶子(しょうこ)

小坪1-12-17 080-3001-5286

addictof-t-m-master5@t.vodafone.ne.jp

Ohana Hoe Outrigger Canoe Club

2004年、逗子に設立されたOhana Hoe Outrigger Canoe Clubです。アウトリガーカヌーとは画像の様に浮きが付いた数人乗りのカヌーです。もともとは、ポリネシアの伝統的な船が現代にスポーツとして普及しました。クラブは各自が運営に携わる非営利の団体で、メンバーは家庭や仕事を持ちながら、週末に海に集まれるライフスタイルを大切に、一年を通して活動しています。

アウトリガーカヌーの魅力は色々ありますが、海好きでチームスポーツで張り切るタイプの方が向いています。でも、初心者でも初めから楽しめる数少ないマリンスポーツです。メンバーは30~50代の男女同数30名程度でカヌー以外でも集まる和気あいの団体です。体験希望の方は、毎月第一土曜日に逗子海岸で行われるマリンスポーツ無料体験会「ビーチクラブ」もしくは以下よりお問い合わせください。

WEB: <http://ohanahoe.com/> Facebook: Ohana Hoe Outrigger Canoe Club
Mail: ohanahoe@gmail.com クラブ代表: 尾花 充 080-6549-0870



逗子海岸で週末の練習風景(江ノ島と富士山が遠くに見えます)



2012年にサイパンの大会に出場したメンバーの集合写真です(中央が代表の尾花さん)



森の木エワークショップ: 森の現場で材料を集め、木工用ナイフの使い方を学びました。実施日は今年の3月です。

「森もり倶楽部」

5歳から始められる森の活動。私達の活動はこれを目標にしています。

小坪の皆さんには馴染みが薄いかもかもしれませんが、逗子、葉山、横須賀にまたがって、三浦半島最大の緑地が残されています。この緑地は、生活に密着した利用があって豊かな自然が維持されてきました。私達は、野山での遊びや、ツリーハウス、家具、生活雑貨、薪や木質ペレットなどの燃料調達など、今の私達の暮らしに沿った山との付き合いを提案して、山の

生物多様性を維持しようと考えています。

相手にする緑地は200万坪! その中で、葉山や逗子で豊かな自然を未来に継承する事を願う団体の連合組織「二子山山系自然保護協議会」に参加し、子供も一緒になって森を再生しその恵みを楽しむ活動に取り組んでいます。

活動は、毎月第三日曜日の9:00に葉山クリーンセンターに集合。30分のハイクアップで現場に到着し遊びを交えた整備活動を実施しています。



伝統的な木のぼり方法にチャレンジする代表の豊伏さん

<https://www.facebook.com/mori2club>
連絡先 080-5476-1722 (豊伏)
E-mail: tamon009@gmail.com

ウクレレ同好会

ウクレレを通して多くの皆さんとの親睦を図る楽しいサークル活動です。ハワイアンだけではなく日本や世界中の曲をウクレレ演奏で楽しみながら練習します。

地域の催しや、多くのボランティアにも参加し皆さんに喜ばれています。毎年逗子プラザ、さざなみホール等での発表会で練習成果を発揮しています。大谷戸会館にて毎週火曜日午前中に練習しています。

1回500円(会館利用費、譜面代、レッスン料)

ウクレレと譜面台は各自持参して頂きますが興味のある方はまずは見学からでも歓迎です。

ウクレレ同好会代表 安東 進 小坪1-17-4 090-2749-5692
E-mail: zushi-an@kamakuranet.ne.jp



みなとみらい藤原会館でのコンサートを見学

さざなみホールでの発表会
左端が代表の安東さん

雑知識

「古都」とは、わが国往時の政治、文化の中心等として、歴史上重要な地位を有する市町村をいい、現在、京都市、奈良市、鎌倉市のほかに、天理市、橿原市(かしはらし)、桜井市、奈良県生駒郡斑鳩町(いかるがちょう)、同県高市郡明日香村、逗子市及び大津市の合計8市1町1村が指定されています。ご存知でしたか?

ご近所サロンこつぽを見学してきました。



座ってできる体操からスタート

平成26年9月2日(火)月に一度のサロンを小坪会館へ見学に行ってきました。

亀団在中の牛尾先生による簡単な体操、筒を使ってボケない小唄を歌いながらのストレッチ。穏やかな雰囲気で行います。

市内新宿在中の西岡さんのマジックショーではちょっとネタを

バラしながらのマジックに和やかな笑い声が自然に沸きました。嵐心にかえるひととき。美味しいお弁当に舌鼓を打ち、ピンゴ大会に歓声をあげ、あっという間に時間は過ぎます。



松の木小唄の楽型
ボケない小唄でストレッチ



裏でスタッフさんが
お弁当仕込中です



マジックショータイム



優しいスタッフのみなさん



全てスタッフさん手作りの
歌者の日のお弁当。



恒例のピンゴ大会はいつも大盛況。

この亀団からはなかなか遠くて…。という方も、ミニバスを途中まで利用してぜひ足を運んでください。とスタッフの方からです。帰路につく皆さんの笑顔は本当に楽しそうで、笑顔にあふれていたのが印象的でした。

■サークル・同好会の紹介 … 例年なら、皆様より有益なご紹介文章を頂いておりましたが、今年は紙面の都合上により一言コメントでの紹介とさせて頂きました。

◆亀が岡園藝同好会

春と秋に大会・懇親会があります。会合は次の通りです。ぜひ一度おでかけになってみませんか。

時/毎週火曜日・第2,4日曜日12時半～16時半
場/亀が岡自治会館2F 費/1日100円 問/瀬野修平24-7474



◆翔風吟道会亀が岡教場

老若男女誰にでも楽しめる、健康維持に最適な趣味です。

時/毎月第1,2,3金曜日 場/亀が岡自治会館1F
問/岡田24-7891

◆ズシップ連合会 小坪第八長生会(公園より北側)

創立50周年。ズシップ連合会の方針は「第二の人生を健康で心身共に豊かに生きる」が使命です。

時/場/イベントによる 問/上野一誠22-2536
詳/ズシップホームページ ZUSHIP.jp

◆ズシップ連合会 小坪第四長生会(公園より南側)

さまざまな企画で高齢化時代をパワフルに活動しましょう。ズシップ連合会は自治会からの業務委託として毎週火曜日にゴミステーションの清掃を行っています。

時/場/イベントによる 問/菊池三郎23-0894
詳/ズシップホームページ ZUSHIP.jp

◆亀が岡ゴルフクラブ(KGC)

コンペ回数213回の歴史あるクラブです。腕に自信のある方もない方も、また女性の参加も大歓迎です。

時/奇数月の第3木曜日 場/葉山国際カンツリークラブ
問/鶴柄盛昭24-1795

◆亀和会

高齢女性たちによるイベント、にぎやかなおしゃべりで楽しい生活情報交換会。

時/月1回木曜日 場/基本的に亀が岡自治会館
問/信太三代子22-8662

◆亀が岡体操教室

60代～80代の幅広い年齢層の女性が牛尾先生のご指導で簡単に楽しくストレッチ体操をしています。

時/毎週金曜日9時半～11時 場/亀が岡自治会館
問/片山24-2547

◆お習字の会

師範になる方や、趣味の方…。とにかく続けることが大切です。

時/毎月第3日曜日10時～15時頃 場/亀が岡自治会館2F
問/原田24-7482

◆気と遊ぶ会

気功を通して気を感じ気を身体中に巡らせる、すなわち気と遊ぼうという会です。

時/毎週水・日曜日朝8時～9時頃
場/はげ山 問/竹下栄子22-9823



◆ママさんバレーボールチーム「小坪愛好会」

9人制バレーボールをさまざまな年代で構成しています。自分に夢中になれる時間を作ってみませんか?

時/場/木曜日・逗子アリーナ9時～12時 日曜日・小坪小学校体育館15時半～18時
費/月・1000円 問/高橋22-9959

亀が岡防災防犯会(KBB)の普段のお仕事紹介

副会長兼事務局長 赤羽 作成



前列右端が赤羽さん

日曜日を除く毎日、昼と夜パトロールをしています。昼は下校時の子供を見守り、夜は拍子木を叩いて「火の用心!」と呼びかけ、出発前と終了時にトランシーバーで交信し状況を報告しています。このほか、私有車4台に青色回転灯を付けて2人ひと組で団地内を自主的に巡回しています。また夏休みと冬休みには「子供パトロール」を行い、未就学児のお子様には保護者に参加して頂いています。

5年以上に渡りこのパトロールを継続していることと、それに加えて青パトや子供パトロールを実施している成果が認められ、この度、神奈川県知事から10月9日に表彰されました。



一方防災面では、災害時の行動マニュアルを作成配布したり、災害時要支援者制度を確立し、災害時一時避難場所へ自力で行けない人を支援する仕組みを確立し、返子市長から高く評価されています。



下校中の学童を見守ります。

平成26年度亀が岡自治会役員会です。

普段はそれぞれの役職のお仕事(防災・防犯、転入・転居、会費の管理、公園の花壇管理、街灯のチェック、イベント開催、会報の発行、掲示板管理、その他市との連携や相談ごとまで)に従事。これらを毎月一度自治会館で報告、熱い議論を交わしています。つつい時間がオーバーしてしまうことも。現在は防犯カメラの導入も検討中。亀団のみなさんが明るい気持ちで安心して暮らせる故郷(ふるさと)づくりを目指しています。



月例役員会の後ですっきりした気分の役員たち

正直、担当役員に就いてしまったことを後悔しない日はありませんでした。来る日も来る日も頭の中はこの会報のことで頭がいつぱい。就寝中でさえ、レイアウトが頭をよぎります。机も資料とパソコンでまるで作家さんみたい。ただど誰かが手にとつて読みたくなる会報を、保存しておきたくなる

編集後記

会報を、なんて提案してしまったからにはやり遂げなければ。という思いだけで発行に至りました。資料提供や貴重なお話をしてくださったみなさま、作成に協力、参加してくださったみなさまに感謝の気持ちでいっぱいです。亀団のみなさまの話のひとつとなりますように。

安藤

「かめがおか」題字
亀甲をあらわす六角形をさわやかに飛ばしました。黄色は太陽と光、青色は空と海、緑色は山や木々をイメージしています。ここ亀が岡は全てを感じる事ができますね。

今後のイベント

12月23日(火・祝日)毎年恒例の餅つき大会があります。ぜひ奮ってご参加くださいませ!(写真は昨年の様子)



薪釜で焚きあげます



よいしょ、よいしょ!